

# は じ め に

鹿児島市立桜丘西小学校長 後 ・ 俊 秀

国の教育改革に関するうねりが益々広がりを見せる昨今、いつの時代においても「読書の大切さ」が提唱されてきました。

子どもの読書離れが叫ばれる中、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、家庭・地域とともに学校における読書活動の一層の推進が求められるようになってきています。

本市でも、平成18年3月、「鹿児島市子ども読書活動推進計画」が発表されました。平成22年度まで実施されるこの計画は、小学校においては「読書習慣を身に付けさせる」ことを求めています。

各学校においては、子どもたちや学校・地域の実態に沿った読書活動の推進や読書指導の在り方についての取組が問われているところであります。

おりしも、本校では「鹿児島市子ども読書活動推進計画」の内容を踏まえ、平成18・19年度の2か年間にわたり、鹿児島市教育委員会研究協力校として『本好きで、読書習慣が身に付いた子どもを育てる読書指導の在り方』を研究主題に、国語科における読書指導法の工夫、本に親しむ場・時間の確保と読書環境の整備、親子読書会や公共図書館との連携等の読書習慣を身に付けさせる活動の研究・実践に取り組んでまいりました。

特に、「読書習慣を支える5つの行為」( 決める 探す 読む 発信する 振り返る ) は、国語科の学習指導を中心に身に付けさせるべきだと考え、実践により検証することを目的に、校内における授業を通じた研究・実践に取り組んできました。

研究紀要にもありますように、当初は本校児童一人一人の読書量には大きな偏りがあり、読書の習慣が十分に培われていないという状況でしたが、全職員が一丸となって、共通理解・共通実践を行うことで、現在は子どもたちの読書量も増え、本を求めて図書室へ通う姿を数多く見受けようになりました。

しかし、私たちの研究は、今、緒に就いたばかりで、まだまだ明らかにすべき事項や内容が多いささやかな実践研究であります。本日の研究公開を契機に、先生方の貴重な御意見や御指導・御教示を参考にさせていただきながら、今後も研究を進め『本好きで、読書習慣が身に付いた子ども』を育てていきたいと思っています。

そして更に読書の質を高め、基礎・基本の根幹に関わる「読書力」「国語力」の育成を目指し、学力向上へとつながっていくことを願っています。

最後になりましたが、これまでの取組に御協力いただきました県立図書館、市立図書館、本校親子読書会の皆様、的確な御指導・御助言をいただきました県総合教育センター並びに鹿児島市教育委員会の諸先生方に心から感謝の意を表しますとともに、今後とも御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます、あいさつといたします。